

達成度：H28.3.31 の自己評価

- 5 目標を完全に達成した。
- 4 目標を概ね達成した。
- 3 目標を一部達成した。
- 2 目標をほとんど達成できなかった。
- 1 目標をまったく達成できなかった。

総務課の目標（平成27年度）自己評価書

総務課長 齊藤 広

個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は達成できなかった理由等
<p>1 政策に関する調整・管理及びわかりやすい資料の公表等（政策秘書室）</p> <p>(1) 政策実現に向けた事業の円滑な実施を推進するため、情報収集と関係各課等との連絡調整を行います。</p> <p>(2) 行政への住民理解を深めるため、施政方針や行政報告をはじめ各種施策等について、引き続きわかりやすい情報提供を行うとともに、行政の説明責任と透明性を図る観点から正しい情報発信に努めます。</p> <p>(3) 「各課の目標」について、引き続き実施するとともに、年度末に当該目標に対する評価を行い、町の取り組み状況を検証し、わかりやすく公表します。</p>	<p>4</p> <p>4</p> <p>4</p>	<p>各課との連絡調整等を密に行い、事業の円滑な運営に寄与できました。</p> <p>行政報告等については、定例議会ごとに町内回覧及び町ホームページに掲載し町民に周知しました。</p> <p>前年度と同様に評価を行い、公表しました。</p>
<p>2 人事管理等の適正化（総務班）</p> <p>平成28年4月から制度の施行が予定されている、能力及び実績に基づく人事管理については、新たな人事評価の制度設計が必要となるため、要綱等の整備や人事評価システムの整備を行い、評価を行う者の研修等を実施してまいります。</p>	<p>4</p>	<p>人事評価制度については、平成27年度下期より試行実施を開始し、併せて、評価者及び被評価者に分けて、職員研修を各2回開催しました。また、平成28年度からの通年実施に向け「人事評価制度」マニュアルを作成しました。</p>
<p>3 行政改革の推進（行政班）</p> <p>人事管理の適正化を進めるうえで、総務班と連携しながら今後の行政組織のあり方、業務の効率化・合理化等の検討を行います。</p>	<p>1</p>	<p>平成28年度に実施する（仮称）地方創生推進会議において審議されると思われることから、今年度は検討しておりません。</p>

<p>4 安全・安心なまちづくりの推進（危機管理室）</p> <p>(1) 自治会や防犯ボランティア団体等と協力して、防犯活動及び交通安全啓発活動を行うなど、犯罪のない環境や交通事故防止に取り組みます。</p> <p>(2) 地域防災計画の実施にあたり、それぞれの役割が充分果たせるよう、防災訓練を実施します。</p> <p>また、自治会単位で設立した自主防災組織の育成を図るため、防災資機材の購入に要する経費に対し補助金を交付します。</p> <p>(3) 災害時における業務継続計画（BCP）【地震編】の策定については、「酒々井町業務継続計画（地震編）検討委員会」を設置し、各部会による研究成果を当該検討委員会に報告し、10月1日の策定に向けて進めてまいります。</p> <p>5 情報化の推進（危機管理室）</p> <p>見やすく使いやすいホームページを目指しコンテンツマネジメント（CMS）を導入準備として新しいコンテンツで公開稼働しました。</p> <p>今後は、研修等を通じ各部署の情報発信を整え新たな体制による運用を目指します。また必要性を考慮した見直しを随時行ってまいります。</p>	<p>4</p> <p>5</p> <p>5</p> <p>5</p>	<p>警察官を安全安心担当官として採用し、犯罪対策の強化を図るとともに、防犯ボランティア団体等との連携及び調整を行いました。</p> <p>今年度は、大室台小学校において実施し、自衛隊による炊き出し訓練、消防組合による救出訓練などを実施しました。また、東酒々井1・3丁目自主防災会に補助金を交付しました。</p> <p>9月1日付けで制定しました。</p> <p>CMSの稼働により、各課において記事を作成することで、迅速に情報の発信を行えるようになりました。</p>
--	-------------------------------------	--